

平成 29 年度アミノバイタルカップ 2017 第 6 回関東大学サッカートーナメント大会
兼総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント埼玉県大会
開催要項

- 名 称** 平成 29 年度アミノバイタルカップ 2017 第 6 回関東大学サッカートーナメント大会兼総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント埼玉県大会
- 目 的** 平成 29 年度関東大学サッカー選手権に出場する 3 チームの選出、埼玉県大学サッカー連盟所属チームのレベルの向上、相互の親睦を深めることを目的とする。
- 主 催** (一財)全日本大学サッカー連盟・(一財)関東大学サッカー連盟
- 主 管** 埼玉県大学サッカー連盟
- 期 日** 平成 29 年 4 月 16 日 (日) ~5 月 7 日 (日) ※予備日/水曜日
- 会 場** 埼玉スタジアム 2002 第 3 グラウンド/埼玉県大学サッカー連盟所属大学グラウンド
- 選手資格**
- ①当該年度、(公財)日本サッカー協会（以下日本協会）に第 1 種加盟登録し、なおかつ(一財)全日本大学サッカー連盟・(一財)関東大学サッカー連盟・埼玉県大学サッカー連盟（以下埼玉学連）に加盟登録している単独の大学及び登録選手に限る。
 - ②原則として埼玉学連に加盟登録してある大学で、会費納入済のチームに所属する選手に限る。
 - ③参加選手は、試合出場に際し、日本協会選手証を原則持参しなければならない。但し、電子選手証の写し（印刷済のもの）により、確認が取れれば出場を認める。
 - ④参加資格に疑義のある場合は埼玉学連が協議して裁定する。
- 選手登録**
- ①前項の資格を有する選手の登録人数は制限されない。但し、外国籍選手の登録は 5 名以内、試合出場は 1 試合 3 名までとする。
※日本協会が定める準加盟チームはこの限りではない。
- 競技方法**
- ①参加申込チームでトーナメント戦を行う。
 - ②試合時間は 90 分とし、90 分間で勝敗が決定しない時は 20 分間(10 分-10 分)の延長戦を行う。
尚、決しない時にはペナルティーキック方式により決定する。
- 競技規定**
- ①試合の競技規則は当該年度、日本協会の競技規則による。但し、1 試合のエントリー選手は上限 18 名とする。交代に関しては試合中を通じて予め提出された交代要員 7 名の内の 3 名(キーパー含む)を限度として交代することができる。
 - ②試合中主審により退場を命じられた選手は本大会中の次の 1 試合以上に自動的に出場することができない。但し、警告 2 枚により退場を命じられた選手は、自動的に本大会中の次の 1 試合に出場することができない。それ以降の処置については、埼玉学連フェアプレー・規律委員会において決定する。
また、出場停止・ベンチ入り停止の処分については、大会をまたぎ適応する。
 - ③各試合を通じ、警告の累積が 2 回となった選手は次の 1 試合に出場することができない。
 - ④本大会でのテクニカルエリアについて、競技規則に示してある一般的な指針に従うが、会場状況に応じて主審とマッチコミッショナーの判断において決定する。
 - ⑤テクニカルエリアで指示を伝えること出来る役員は、その都度 1 名に限る。又、役員は席を立ち上がって戦術的指示を与えることができるが、テクニカルエリアおよびベンチ内では責任ある態度で行動しなければならない。退席を命じられた役員は、次の 2 試合のベンチ入りを自動的に停止する。それ以降の処置については、埼玉学連フェアプレー・規律委員会において決定する。また、出場停止、ベンチ入りの停止の処分については、大会をまたぎ適応する。
- 選手及び役員** ベンチに入れる者は登録された役員 6 名(マネージャー含む)、交代選手 7 名(ピブス着用)の 13 名を上限とする。また、出場停止中の選手・役員はベンチに入ることが出来ない。
- ユニフォーム**
- ①ユニフォーム・背番号は、エントリー用紙で登録し記載されたユニフォーム・背番号でのみ出場することができる。
 - ②ユニフォームは日本協会ユニフォーム規定に準じたものを使用する。尚、インナー及び、ユニフォームを覆うテープ（テーピング含）はその同色でなければならない。
 - ③ユニフォーム(シャツ・パンツ・ストッキング)は正の他に副として正と異なる色のユニフォームをエントリー用紙に記載し、必ず携行すること。尚、インナーは同色とする。マッチコーディネーションミーティング以外でのユニフォームの決定は無効とする。
 - ④ユニフォーム決定の優先権は昨年度リーグ戦上位チームとする。なお、マッチコーディネーションミーティングに遅れたチームの優先権は無効とする。
- 審判員**
- ①主審は、(公財)埼玉県サッカー協会より派遣される予定であるが、派遣が出来ない場合には学生の有資格者が行う。副審と第 4 審判は割り当て表

により各大学から派遣される。※準決勝・決勝は主審・副審ともに派遣される。

- ②副審と第4 審判はマネージャーズミーティングに出席し、主審と打ち合わせを行うこと。
- ③副審と第4 審判は審判服とワッペンを着用し、ストップウォッチ機能付きの腕時計を携行し、審判証をマネージャーズミーティングで提示する。尚、審判証の提示ができない場合は、マッチコミッショナーが試合の実施及び、延期等について判断する。（電子審判証で確認できる場合は除く）

参加申込み 4月12日（水）12時までにエントリー用紙に必要事項を記入し、事前に配布されたエントリーフォーマットにデータを打ち込みメールで提出する。
参加費 25,000円とする。参加費は、4月14日（金）までに連盟の指定口座に必ず大学名で振込むこと。
【埼玉りそな銀行・霞が関支店・普通口座・4079524・埼玉県大学サッカー連盟 代表 植松孝博】

延期・遅延 ①天候等による試合の中止に関しては、マッチコミッショナー、グラウンド管理者、主審の判断に一任する。中止の場合は、試合の2時間前に判断することを原則とするが、それ以降であっても天候、会場の状況が悪化した場合は中止にする場合もある。
②試合開始時間の遅刻は公共交通機関の遅延によるものであれば、MCの判断により試合の開始を遅らせることができる。尚、その際は公的な証明書を提出すること。その他の場合は原則として棄権とする。

表彰 ①優勝チームには、トロフィー・賞状を授与する。準優勝チームには、盾・賞状を第3位には、賞状を授与する。
②優勝・準優勝・第3位のチームは、平成29年度アマリバイタルカップ第6回関東大学サッカートーナメント大会兼総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント都県予選（神奈川県開催）に埼玉県代表として出場する。

諸注意 ■マッチコーディネーションミーティング
○試合開始80分前にマッチコーディネーションミーティングを会場運営本部で行う。
○参加者はマッチコミッショナー、主審、副審1、副審2、第4番、会場担当校の学連、対戦チームの代表者とする。
その際はエントリーに記載された正副のユニフォーム（FP・GK）を持参すること。※貼番のある場合は同時に持参する事。
※試合開始80分前に提出するもの ○日本協会選手証 ○メンバー表1枚 ○試合球（ミカサ・MC5-WBL）3球（うち1球は新球）
●**試合エントリー完了後からキックオフ時刻までの間における選手の変更は、練習中の負傷または急病などやむを得ない事情があり、かつ主審及びマッチコミッショナーの承諾を得た場合に限り認められる。なお、この項によって認められる選手の変更は次の各号のとおりとする。**
①**先発選手の場合、控え選手を先発選手に変更し、新たな選手を控え選手として補充することができる。当該先発予定選手を控え選手に変更することはできないが、ゴールキーパーについては例外として認める。**
②**控え選手の場合、新たな選手を補充することができる。但し、補充する選手は出場チームが参加申し込みをした選手とする。**

■マッチコミッショナー
○マッチコミッショナーは評議員もしくは評議員に準じる者が行う。
○試合開始80分前のマッチコーディネーションミーティングに出席し、試合中の運営に関わる諸問題に対し学生ヘッドバイスをを行い改善に努める。
○総合的な現場の状況判断の責任者として常に状況の把握に努める。

■補助学生
○記録学生2名【本部集合は試合開始80分前】※メンバー表・選手証の確認・記録下書き
※対戦チームから各2名
○担架4名・ボールパーソン4名【本部集合は試合開始15分前】
※1試合目を2試合目の対戦チームが、2試合目を1試合目の対戦チームが行う。

■その他
○駐車場を含む会場往復での事故、更衣室での盗難等が起きた場合、連盟、会場担当校は一切の責任を負わない。
○大会要項に記載されていない事態等についてはマッチコミッショナーが関係者と相談して判断する。
○競技中における負傷・疾病等の応急処置以外は、各チームの責任で処置する。
○参加者は健康保険証を持参し、スポーツ障害保険に加入していること。